

(一財) 日本建築総合試験所
建築技術性能証明 評価シート

【技術の名称】 SSB-Stabilization工法 —スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法—	性能証明番号：GBRC 性能証明 第19-23号（更1） 性能証明発効日：2023年3月17日 性能証明の有効期限：2026年3月末日 【取得者】 株式会社奈良重機工事、株式会社コクエイ、 株式会社システムプランニング、 株式会社武田土木、千代田ソイルテック株式会社、 株式会社フジタ地質
--	--

【技術の概要】

本技術は、通常のバケットまたはスケルトンバケットを用いて改良範囲内全体の地盤を裁断後、地盤とセメント系固化材のスラリーをミキシングバケットにより攪拌混合し、ブロック状の改良体を築造するスラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法である。

本技術の特徴は、ミキシングバケットの駆動油圧およびミキシングバケットの位置をリアルタイムで計測することで施工管理することである。

【更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第19-23号（2020年3月25日）
更新：GBRC 性能証明 第19-23号（更1）（2023年3月17日）

【技術開発の趣旨】

本技術は、ブロック状の改良体を築造するためのミキシングバケット等を使用する既存技術を踏襲し、施工効率および品質の向上を意図した管理方法を導入している。本工法では、地盤と固化材スラリーが攪拌されて流動化すればミキシングバケットの駆動油圧が低下してほぼ一定となることに着目し、駆動油圧がほぼ一定になった後に所定の時間攪拌混合することとしている。また、攪拌混合時のミキシングバケットの軌跡を傾斜計を利用してリアルタイムで計測することで、所定寸法の改良範囲を確実に攪拌混合するよう管理することとしている。

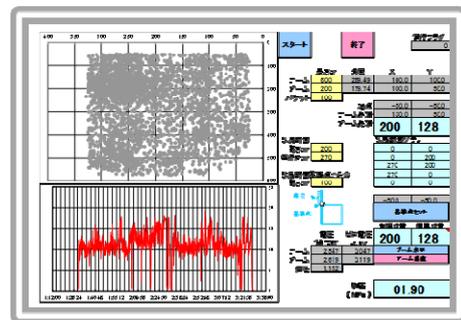
【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
申込者が提案する「SSB-Stabilization工法 施工指針」に従って築造される改良体は、土質に応じて200～2,000kN/m²の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土、粘性土（ロームを含む）ともに25%が採用できる。
また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

○適用範囲

- ・適用構造物：建築物、擁壁および工作物
- ・適用地盤：砂質土地盤、ローム・粘性土地盤
- ・改良体体積：54 m³ 以下
- ・施工深度：施工地盤 - 6mまで
- ・最小固化材添加量：100kg/m³
- ・水固化材比：100～200 %

○施工管理用モニター画面



【本技術の問合せ先】

- 株式会社 奈良重機工事 担当者：奈良 伸太郎
〒458-0023 名古屋市緑区鴻仏目 1-115
株式会社 コクエイ 担当者：青木 拓也
〒702-8024 岡山市南区浦安南町 16-5
株式会社 システムプランニング 担当者：佐々木 敏弘
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 3-18-4 オフィス 21-4 階
株式会社 武田土木 担当者：武田 博
〒709-0614 岡山市東区竹原 734-2
千代田ソイルテック 株式会社 担当者：雨甲斐 隆太
〒340-0823 埼玉県八潮市古新田 325 番地
株式会社フジタ地質 担当者：藤田 秀明
〒703-8204 岡山市中区雄町 425-1

- E-mail：s-nara@narajuki.jp
TEL：052-877-8281 FAX：052-877-8271
E-mail：aoki@kokuei.com
TEL：086-264-5821 FAX：086-262-5399
E-mail：info@kk-sp.co.jp
TEL：022-374-9808 FAX：022-374-9235
E-mail：takedakk@basil.ocn.ne.jp
TEL：086-297-5692 FAX：086-297-2309
E-mail：amagair@t-soiltech.co.jp
TEL：048-995-9876 FAX：048-995-9803
E-mail：info@geo-fujita.jp
TEL：086-208-3950 FAX：086-208-3951